な 内 容 主

- ○令和4年度予算審査のあらまし …… 2面
- ○予算に対する各会派の要望・意見 …… 3 面
- ○代表質問
- ○常任委員会・特別委員会の動き …… 7 面
- ○議案等審議結果一覧 …………… 8 面

No.245

発行 藤沢市議会 編集 広報広聴委員会 発行日 令和4年(2022年)4月25日 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123

ホームページアドレス http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/



計補正予算(第10号))」など43議案が承認、可決されました。

議員提出による「ロシアによるウクライナ侵攻に対

「専決処分の承認について

市議会 トップページ

り開催され、

市長から提出された令和4年度8会計予算をは 2月15日から3月22日までの36日間にわた

(令和3年度藤沢市一般会

2月定例会は、

2月定例会

アの侵攻に抗議する決議を全会一

0平和的解決を求める決議について」が可決されました。

議会の動き

【1月】

桜人が思い巡らせ道をゆく=引地川親水公園

25日 子ども文教常任委員会 【2月】

4日 災害対策等特別委員会 9日 10日

15日 (第1日)

議会運営委員 17日 18日

24日

28日 議会史編さん委員会 【3月】

本会議(第3日) 議会運営委員 4日) 4日 本 会議(第5日) 予算等特別委員会

8日 9日 10日

7日

14日 15日 16日 17日

11日

22日 議会運営委員会 本 広報広聴委員会

会議(第6日)

(第2日)

補正予算常任委員会 報広聴委員会

2日 議会運営委員会

議会運営委員会

·予算等特別委員会

▽法人立保育所運営費等助 成事業費 = 4992万9千

する経費及び認可保育施設 的とした補助金の交付に要 上回るため増額するもの。 、の補助等が当初見込より 保育士等の賃金改善を目

該小児を監護し生計を同じ ・小児を養育している者の くするときは、 父母のうち

いずれか当該小児の生計を

中の利用者及び周辺地域へ

済効果の拡大を図るととも

【施行日】 令和4年10月1日

3回目のワクチン接種及

ナン接種費=8億2098 >新型コロナウイルスワク もの。 児に関する規定を削除する 満12歳に達する年度末をも って受給資格を喪失する小 所得制限の撤廃により、

規定に、「父母がともに当

ーアル整備の機会を捉えて の入場料について、リニュ 見直した結果、午後5時ま 島サムエル・コッキング苑 コッキング苑条例の一部改 この議案は、)藤沢市江の島サムエ 藤沢市江の

> 改正するもの。 化するため、

での利用の無料化により日 場として広く利用されるよ うに市民等の身近な憩いの 【条例の主な内容】 当該施設が都市公園のよ 午後5時までの利用を

無料とし、 、周辺地: 心域への経

条例の一部を | 政財産の目的外使用に係る 使用料条例に定める内容と の規定を準用する藤沢市行 くて 施設内での使用許可を要す 同 ・営業目的の写真撮影など、 る行為及び使用料の額につ 一となるよう改めるもの。 藤沢市都市公園条例

用料を算定しなおし、また ともに、午後5時以降の利 の経済効果の拡大を図ると ..苑における営業目的の使

受益者負担の観点から、 ント開催時間帯における、 する方式に改めるもの。 後5時以降の利用料を徴 午 収

用料について、 価格を適正 来場者の多い夜間

をタップ をタップ

侵攻に対し平和的解決を求○ロシアによるウクライナ

ーク導入に係る環境整備を

率において未就学児に係る

国民健康保険の保険料

市内中小企業者のテレワ

業費=1200万円

険法施行令の一

一部が改正さ

>テレワーク等導入支援事

現に向け、国際法に基づく もに、世界の恒久平和の実 して抗議の意を表するとと 誠意ある対応を強く求める るウクライナへの侵攻に対 ことを決議するもの。 この議案は、 購入及び学校内のネットワ ▽教育情報機器関係費=4 要する経費を増額するため 目的とした補助金の交付に 701万5千円 辺機器や指導者用端末等の に繰越明許費を設定。

授業で使用するICT周

賦課額の算定に当たり、

【条例の主な内容】

部を改正するもの。

令和3年度藤沢市

後の予算総額を1829億 8万1千円を追加し、 入歳出それぞれ88億816 般会計補正予算は、 補正 明許費を設定。 経費を増額するために繰越 -ク環境の安定化に要する

2049万8千円とする。 主な補正内容は、次のと 例の一部改正について○藤沢市小児医療費助成条 この議案は、

療費助成に設けている所得 の一部を改正するもの。 制限を撤廃するため、

【条例の主な内容】 中学生の医

【施行日】 令和4年4月1日

定を追加するもの。 含めるよう改めるもの。

均等割額を5割減額する規 ・未就学児に係る被保険者 定に当たり、未就学児の被 保険者均等割額の減額分を

・一般被保険者に係る後期 高齢者支援金等賦課額の算

均等割額を軽減することと の減額分を含めるよう改め されたこと等に伴い、条例 就学児の被保険者均等割額 般被保険者に係る基礎 LINE登録方法 ①左のQRコードから藤 沢市公式LINEを追加 ②**「受信設定」**をタップ ③「アンケートに回答」 ④アンケートの**「市議会」** にチェックをし「確認」

るもの。

藤沢市公式LINEの画面・本庁舎9階市民口ビーのサイネージ

び12歳未満等への接種に要 繰越明許費(※)を設定。 する経費を増額するために 維持する程度の高い者」

整備費用等を増額するため

ワクチン接種に係る体制

操越明許費を設定。

者としない小児に関する規 ・養育者の所得により対象 ○藤沢市国民健康保険条例 定を削除するもの。 【施行日】 令和5年4月1日

3226万9千円

この議案は、 国民健康保

いう文言を追加するもの。

議会では、市民の皆様にいち早く情報を 内の合物では 0 ジを活用

民ロビーに設置されているサイネー 新号や定例会の日程等をお知らせします。 での情報配信を始めました。議会だより お届けするため、 市議会の活動を紹介しています。 市役所本庁舎の1階ロビーと9 新たに藤沢市公式LI ジで Ň E は 0 蕞

本市は今後、どのように情

| ず市役所にも寄せられたと

救助要請が、消防のみなら 豪雨では、SNSを使った

|ることで、SNS上の必要 な情報を集め、誤った情報

| 速報情報サービスを活用す

い、情報提供を呼び掛けた。

長野県はハッシュタグを用

報収集を行うのか聞きたい。

聞いている。

2019年の台風19号の際、 害時の情報収集について、

質問

2018年の西日本

質問

SNSを利用した災 | らせてくれるSNS緊急速

報情報サービスを導入する。

原則電話によるものとして 一答弁
救助要請や通報等は、

と考えている。

市営住宅の長寿命化

今後設置を進めていく。

居住しやすい環境を

外となる箇所は対応できな

また、階段室手前の住宅

害対応につなげていきたい

すり設置などのバリアフリ

いと考えている。

-工事を位置づけており、

いたが、今後はSNS緊急

SNS緊急速報情報サー

や位置情報を活用し、市内

S上で得られた災害の画像

えるが見解を聞きたい。

被害状況、要救助者を確認

すりが設置されていない住

宅は外壁改修工事の際、手

計画において、階段室に手

市営住宅の長寿命化

における災害の発生状況や

し、効果的な救助活動と災

複数の情報をAI技術で解析

災害時の情報収集を効率的に

術により位置情報や画像の

のような救助要請に対し、 問題となるが、本市ではこ

どのように対応していくの

った情報の中から、A-技

複数のSNSに上が

SNSの情報は信頼性が

まとめるなど、効率的な情

報収集が可能となる。SN

極的に行っていくべきと考

入居後も居住の安定が図れ

り組むのか聞きたい。

営住宅に入居できるよう、

質問 必要とする市民が市

しく参加できるような事業

度はさらに多くの市民が楽

にするため、どのように取

ある。

質問

ェクトについて、令和4年

質問 ふじさわ歩くプロジ

楽しめる取組を 健康づくりを促進

に太陽光発電システムを設

要なバリアフリー対応を積 手すりを設置するなど、必

等を排除し、同事案を取り

む高齢者のために、階段に

対応を図っていく。 いため、自治会などを通し、

質問 市内の市営住宅に住

重要度などを解析し、選択

した条件に関する情報を知**一か聞きたい**。



再生可能エネルギー導入に向け、 公共施設を有効活用=大道小学校

A事業を導入

地球温暖化対策の推進

太陽光発電システム設置を

の普及促進に向けた取組で あるPPA (※) 事業につ いて、仕組みとメリットを 太陽光発電システム

聞きたい。

事業者が公共施設等

考慮しながら導入に向け、

整備や統廃合の計画などを

設の駐車場など、今後の再 小中学校や保育園、公共施 設置している施設を含め、 既に太陽光発電システムを 検討状況については、

や課題を聞きたい。 メリットとしては、初期費 あると考えるが、検討状況 ギーを導入していく必要が を設置し、再生可能エネル めるには、PPA事業など 用や設備の維持管理が不要 質問 地球温暖化対策を進 電気が使用可能となる。 を購入する仕組みであり、 置し、市は発電された電気 により太陽光発電システム 再生可能エネルギーの 設を検討している。 うした点を踏まえ、 ふれあい入浴拡大 局齢者の利用促進を

ついて、令和4年度は週2 の場所から、特定地域に利 増えるが、対象となる浴場 回から週5回に入浴回数が **質問 ふれあい入浴事業に** いる。

用者が偏ると思うが、どの ように新規利用者を増やし るか聞きたい。 とが重要であると考えるが、 づけをどのように考えてい 災害インフラとしての位置 インフラとして活用するこ 質問 公衆浴場を災害時の

聞きたい。

移動支援については、

取り組んでいくのか見解を

関係課と調整をしている。 課題については、PPA ていくのか市の見解を聞き

公衆浴場については、

積や使用電力によって電気 などの状況により設置場所 から20年と長期になるため、 代が異なることであり、こ が限られることや、設置面 建物の老朽化や屋根の構造 の一般的な契約期間が15年 、対象施 とから、藤沢浴場組合と協 議し、入浴回数を増加した。 配の声を多くいただいたこ 族から、掃除などの負担や こと、及び高齢者や同居家 いき交流事業が廃止になる 人で入浴することへの心 この拡大により、高齢者 本事業は高齢者いき 災害時における入浴支援等 に関する協定を締結してお 本市と藤沢浴場組合とで、

だいた。

利用者からは、非常に良い

取組であったとの声をいた

利用してもらえると考えて の向上を図り、多くの方に の入浴機会促進や環境衛生 湘南大庭地区で検討投票所への移動支援 質問 える。 持の役割を果たすものと考 災害時における公衆衛生維 生活衛生の提供をするなど、 区で投票所への送迎を試験 者に対する入浴支援を行い、 り、被災者に加え帰宅困難 議員選挙において、長後地

式で実施したが、交通空白

を利用して停留所を回る方

また、ジャンボタクシー

どのように認識しているか 市民の声や課題について、 的に実施したが、利用した 令和3年度の衆議院 ている。 び悩んだことが課題と捉え 同した結果、利用者数が伸 が難しかったこと、及び市 狭く、停留所を設けること 地であることから、道幅が **質問 4年度の参議院議員** 民が乗合タクシー事業と混 選挙に向けて、どのように

48)

長後北西部地区

運行時はパネルを貼付

知が十分にできなかったが、 前に決まったことから、 衆議院議員選挙の日程が直

地区北西部を対象に実施し、 交通空白地といわれる長後 支援を実施したが、 を対象として試行的に移動 交通空白地と言われる場所 聞きたい。 衆議院議員選挙では、 参議院

|化率が最も高く、|議員選挙では、市 |票所を設置していない、 南大庭地区での実施を検討 市内で高い 期日前 湘 投 齢

している。

投票しやすい環境を目指し、期日前投票所までの移動を支援 (※)PPA…電力販売契約(Power Purchase Agreement)。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、 発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金と二酸化炭素排出の削減ができる。

では、予算等特別委員会 の審査の概要をお知らせします。 令和 4 年度予算等特別委員会委員 直人 副委員長 永井 智 幹郎 松長由美絵 清水竜太郎 甘粕 和彦

令和4年度一般会計及び7特別

4万3千円)並びに議案第8

「藤沢市職員定数条例の-について」ほか4議案、計1

たり審査が行われました。

で全て可決されました。

(総額2,861億3,58

3月4日に設置された予算 等特別委員会において9日間にわ

3月22日の本会議

委員長 桜井

11

// 柳田 秀憲 // 塚本

昌紀

数中の約15%を占めており、 が、現在は空室が総管理戸 は、慎重に判断していきた 新しい住宅の建設について 集以外に、受付順に入居で の対策を行いながら利用し 均化を図るため、設備改善 とを検討すべきと考えるが きる随時の募集をしている ることから、募集倍率の平 る直接建設型の住宅を基本 に応募者が集まる傾向があ 本市では年2回の定期募 建築年数が浅い住宅 市営住宅を増やすこ 答 弁

やすい運営に努める。

施していることから、4年 取り込むキャンペーンを実 | どのキャンペーンは、 加者には継続して参加して 度については、これらの参 | **と歩く意欲が湧き、** いただけるよう、そしてさ もなると考える。

チームで参加するふ きたい。 うな取組について、どのよ 的に参加していただけるよ も、企業や団体等にも積極 うに考えているか見解を聞 健康経営などの観点から

チー

(沢市在住)

佐藤早苗氏(新規推薦、

ムの平均を下げないように 励みに

などを見直していく予定で らに多くの方に参加してい ただけるよう、設定や期間

3年度に就労世代を | じさわ歩くプロジェクトな

市民が楽しく参加できる健康づくりのキャンペーンを

推薦について ○人権擁護委員候補者の 人権擁護委員候補者の推薦等に同 藤沢市域の人権擁護委

意

鷹することについて、 議 となるため、候補者を推 月30日をもって任期満了 貝の1人が、令和4年6 |4年3月31日をもって任 議会の同意を求めるもの。 を委嘱することについて、 期満了となるため、委員 議会はこれに同意した。

年間。 ・小澤弘子氏 ら6年3月31日までの2 任期は4年4月1日か (再任、 鎌

会の意見を求めるもの。

倉市在住 (再任

|・篠崎百合子氏 鎌倉市在住

ら7年6月30日までの3

任期は4年7月1日か 議会はこれに同意した。

・宮地基氏 (再任、 横浜

|・吉田眞次氏 (再任、 横

(新任、 藤

·山田峰彦氏

貝の委嘱について 藤沢市個人情報保護審

個人情報保護審査会委 浜市在住)

|沢市在住

査会委員の5人が、令和 |する予定であり、就労世代|力して、アンケートを実施

元気ふじさわ健康プ

下が課題となっていること 世代の肥満や身体活動の低 ランの中間評価では、就労 から、藤沢商工会議所と協 | 組んでいく。 |促進について積極的に取り |の健康づくり、身体活動の

進は前倒しで取り組み、

⑤火山災害は富士山を想

は

コロナとの因果関係

ンフラ整備であり、早期

③ふるさと納税について、 がら要望活動の展開を。 轄の他市町を巻き込みな

誰もが普通に入浴できる

を促進すること。⑥訪問 健福祉圏域において整備 連携して湘南東部障害保

人浴サービスについて、

センティブをつけること。

コロナ患者の後遺症支援

ので、

ル広場へのWi-Fi設 して支援を。⑮サンパ が、農業振興の起爆剤と

> 併設に向け、引き続き管 所への家庭裁判所出張所 直しを。②藤沢簡易裁判 る仕組み等、総合的な見 標設定の在り方や評価す

様々な効果が期待される

ことで多世代間交流など

ョンを。④魅力的な未来 のあるシティプロモーシ 今まで以上にインパクト が必要であることから、

域の縁側などと連携する 策を。⑨子ども食堂は地 見人や家族が困らない対 いる世情に鑑みても被後

酒を造る事業が行われた

入れ施設について、県と

重度心身障がい者の受け ⑤医療的ケアが必要な方、 るよう、取り組むこと。

手不足の解消などを目標 認識を。他休耕田や担い 利益となっている現状の 民の財産が民間事業者の

①人事評価について、目

ふじさわ湘風会 7人 変革を恐れず挑戦を 未来志向の政策実現

発電システムを設置でき

様々な公共施設に太陽光 暖化対策を進めるため、

に、藤沢産の酒米で日本

のためにもSDGsの推









るためにも、市長のリー 魅力あるまちであり続け 30%の達成を。 ③本市が 令和4年度に育休取得率 周知や意向確認を行い、 休産休の取得推進は個別 むこと。②男性職員の育 市が先頭に立って取り組 連携し、設置市である本 致は、管轄の5市1町と ①家庭裁判所出張所の誘

ターシップとメッセージ

業は、障がい者が増えて

能になる緊急事務管理事

までの空白期間に被後見

人の預貯金管理などが可

義を常に考え事業を行う

こと。⑧成年後見人決定

場の残骨灰処理について、 対応をすること。③火葬 ては相談者に寄り添った 副反応の相談などについ 再開することなどから、 ワクチンの積極的勧奨が

1000万円もの収支増

速させること。④地球温 本市ならではの取組を加

になりうることから、市

ター事業が活用されてい

自主財源を使う意

②国や県の補助を受けず

に行う生きがい就労セン

蔵書をデータベース化し ため、市内学校図書館の ①地域に開かれた学校の 速やかに改善すること。 携が取れていないため、 のことだが、横断的な連 を制定し解決していくと 策についてガイドライン の設置を。⑥ごみ屋敷対

後のスポーツ施設の再整 て利便性の向上を。 ⑱今 入の可能性があるのかを だけのキャパシティと導

どを行い、ベビーファー

近な施設での事業実施な

ストなまちを。⑫HPV

示して、積極的な活用を。







市民クラブ藤沢 9人

いて、全公共施設にどれ

⑥PPA事業につ

の創設を。⑪産前産後ケ でいないので、専門窓口 が証明できないなど進ん

アの充実として、より身

市民目線の仕事を

行政の姿の見直し

や具体的な対策指針の策 定し、火山灰の被害内容



全ての内容は こちらから



民主・無所属クラブ、市民クラブ藤沢、 じさわ湘風会及び藤沢市公明党は全予算案 に賛成し、アクティブ藤沢は令和4年度一般 会計予算案に反対し、日本共産党藤沢市議会 議員団は令和4年度一般会計予算ほか5特別

会計予算案等に反対しました。 ここでは、予算に対する各会派の要望・意 見の要旨をお知らせいたします。

> 市民と協働し発展を市民会館の再整備 サステナブル藤沢、イン ①令和4年度当初予算を 民主・無所属 クラブ

> > 湘南台駅周辺のまちづく

⑨緑地保全は、住宅地や

計画する際は、子どもの

め、着実に実行すること。

から対応する積極的な取 けではなく、小さな相談 自らが、重大ないじめだ 教育委員会とは別に行政 家庭裁判所出張所の設置 らなる安全・安心な暮ら 価する。②地域住民のさ 進めると示したことを評 タル化等を踏まえながら クルーシブ藤沢、スマー を。③いじめについては、 ト藤沢、SDGsやデジ しの確保ができるよう、

トスクエア整備事業は、

ること。⑧次世代自動車 動車関連事業者への影響 き国の動向とともに、自 導入については、引き続 を活用し、実効性を上げ 民連携の中で補助金制度 PPA (※) 事業は、官 提供を。⑦太陽光発電の 消のため、速やかな情報 今後も地域住民の不安解 協力を得て推進を。⑥厚 基に関係諸団体との調整・ 木基地の動向については、

等について注視すること。 こと。⑪子どもの政策を

幅広い分野からの意見を ボランティア活動という りを都市計画として再開 上げを。⑤チームFU亅 広範で継続的な内容とし、
 -SAWA2020は、 湘南台地区の盛り ングケアラー支援は、

果たす部署を明確にする 材の不足は、ICT活用 る取組が必要なため、コ 機関、多職種の連携によ 着につなげること。⑫ヤ 援に努め、人材確保の定 い環境づくりに向けた支 等による職員の働きやす 添った運営を。⑪介護人 ボランティア活動に寄り ーディネーターの役割を わせた回収場所の設置等、 多

周知方法と活動拠点に合 活動におけるごみ回収方 策を。⑩ビーチクリーン を増やすよう具体的な対 り、公園や公共施設の緑 商業地での緑が重要であ 法を切り替えることから、 権利条約に掲げる参加権、

業は、ケアを必要とする 会社、国、県と連携し、 れる鉄道を選定し、鉄道は、広域アクセス性に優 こと。⑰いずみ野線延伸 含め積極的に受け入れる を希望する方も多い新規 講じること。⑯有機農業 い事業者等への適切な支 や県の支援が行き届かな 業継続支援金事業は、 を低く抑えること。⑤事 よう、初回は自己負担を めること。④産後ケア事 意見表明権を尊重し、 就農者を、農地の斡旋を 援策を経済団体と協働し、 なくす、もしくは負担額 人が利用をためらわない 広域アクセス性に優

早期に採算性の検討を進 配置は、

民会館再整備は、市民と のように両立させるかと 受皿となることを期待す 部地域の愛好者を中心に 手作りしてきた文化行政 設整備をすること。②市 競技に親しめるよう、施 ②スポーツ振興について 校を開くことと安全をど 複合化を進める際は、学 る。⑩教職員の欠員や未 ボード広場の整備は、北 秋葉台公園内のスケート いう視点に立った取組を。 え、国・県と連携し対策 市民が身近な場所で ②学校開放や施設の 働き方改革に加

画の遅延はあってはなら 理事業は、これ以上の計 るよう取り組むこと。 所への情報提供を行いな ない。地域住民や関係各 部第二(三地区)区画整 急に検討すること。②北 夢のある再整備計画を早 市宣言の理念に則った、 備について、スポーツ の伝統を踏まえ、発展す がら、確実に執行するこ

回数の是正を図ること。 含め、サスティナブルセ いて、 SDGs の視点を 路維持管理・補修等につ 化につながる施設となる 行い、西北部地域の活性 民との意見交換を十分に 場調査の結果と、地域住 り、サウンディング型市 ⑦少年の森再整備に当た よう検討すること。⑧道 よう、対象年齢及び使用

取り組むこと。⑨旧御所 集い、地域の活性化につ 安心に遊べ、地域住民が 見市民センター跡地につ や新製品の動向に注視し、 型製品の活用等、新技術 メントのような環境配慮 ちづくりを行うこと。 将来にわたる税収安定の 部振興、市内経済活性化、 よう取り組むこと。⑩北 ながる新たな拠点になる いて、子どもたちが安全・ 需要を財政の裏付けによ 入院時の保証人の在り方努めること。⑥市民病院 って担保できるよう、よ き続きPR活動を推進す り一層健全財政の維持に ること。⑤増大する行政 を再度検討すること

184年度に予定している 援の構築を。④ゆるキャ 制度の早期創設を。 ゆるコンテンツに活用し、 ラのふじキュン♡につい の意見を取り入れ、ニー ル社会に向け、高齢者等 教材費の一部を補助する 取得について、受験料や ること。②防災士の資格 を学ぶ場、啓発の場を作 ①地域と連携を図り、自 ズに応じたきめ細かい支 などで、防災ナビの内容 治会組長会や地域の集い 一人取り残さないデジタ 藤沢市公明党 あらゆる場面であら

肢に加えられるよう、 市内農水産物の消費拡大 保護者が健康的でおいし 観点からも、より積極的 ついて、経営支援という 取り組むこと。⑬職人版 政府が進める成長と分配 環境整備を。⑫ウィズコ う、引き続き学校給食用 がより一層推進されるよ 校給食について、忙しい インターンシップ事業に 現されるよう、引き続き 本主義が本市において実 の両立を通じた新しい資 ロナの経済政策について、 農水産物の出荷における いデリバリー給食を選択 に推進すること。⑭中学

課題整理し取組を 感染対策と経済対策 5 人

女子児童生徒が安心して 貧困について、すべての 今後はおしゃべりも可能 本的な検討を。⑥生理の など、刷新に向けての抜 であり、若い世代の参画 な癒し系のロボットとし 向けた地域づくりの中核 推進会議は2040年に て開発を。⑤郷土づくり

直し、誰一人置き去りに う、全小中学校のトイレ いて、組織の体制から見 を。⑦地域包括ケアにつ 生き生きと成長できるよ への生理用品の早期配置 園であるため、多くの方 堪能できる市内唯一の公 窪谷公園は、自然環境を 討を。⑨ (仮称) 遠藤笹 から愛される公園となり、 本市に適した総合的な検 映させ、あらゆる観点で の場となるよう後押しを。 市北部の新しい魅力発信 生かし生物多様性を学び

管理の在り方を早急に検

討し、決定すること。

2030年度までに、

010年度比で50~60%

備事業について、広場の 駅地下アートスクエア整 を生じさせないよう丁寧 学校の認識に大きな乖離 について、教育委員会と ⑩コミュニティスクール

に進めること。①湘南台

活用に向けてのルール化、

市民の福祉に配分を 議会議員団 日本共産党藤沢市 大型開発聖域化やめ

> 者向けのバス等助成制度 への引き上げを。⑦高齢

健康増進や経済活動

ランの改定に向け、ニー

ズの変化を考慮し、かつ、

③ 誰

手を。⑧交通マスタープ 住民及び利用者の声を反 しない地域づくりへの着 は任意である。⑤藤沢市 指すとのことだが、取得 の増進を図ることを目的 タル化は、市民の基本的 のでやめるべき。③デジ 施を。②窓口業務の民間 とすること。④マイナン 住民サービスが低下する 委託は公務領域を狭め、 接触者も認定し、医師の パートナーシップ宣誓制 和5年度に100%を目 人権を擁護し、住民福祉 診断のもとPCR検査実 王療養方針はやめ、 ハーカードの取得率を令)新型コロナ感染症の自 など総合的な効果をもた

要な性別欄は撤廃を。⑥ 度は改善と充実をすると ともに、公的書類の不必 一酸化炭素削減目標は、

成制度は所得制限なく18すべき。⑩小児医療費助 ⑨いきいき交流券の廃止 の値上げはやめ、一人一 を生かしたまちづくりに。 中止し、バス網を整備し 駅設置と周辺整備事業は り替えるべき。⑫村岡新 設と、いきいきシニアセ 進の観点からもスポーツ 福祉拠点として住民要望 給食は単独自校方式に切 歳まで拡大を。⑪中学校 ンターの入浴は無料に戻 施設の利用助成制度の創 に対し、高齢者の健康増 万円以上引き下げるべき。 ⑧国民健康保険は保険料 済的移動支援策の創設を。 らすことから、新たな経

村岡新駅で法人税収

めて協議会での決定前に 巡っては、企業負担を含 とのやり取りであり、市 千葉市議会へ提案されて ①幕張新駅の費用負担を いる。これが健全な議会

アクティブ藤沢 1人 戦略見えず危惧 収支、法人税収の見通し、 新駅では周辺企業に負担 大変危惧する。市税収入 市民への還元も見えず、 よる周辺企業へのプラス に当然問題だが、新駅に を求める協議も行われず に戦略の明確化が必要。

民への説明である。 村岡

議会との関係も本当にこ

は、ケアラー支援の視点が システムの推進に当たって

(民主・無所属クラブ)

は、日本ケアラー連盟への | じめとする庁内関係部局や

|関係機関が、実態把握や適

切な支援をできるよう、横

藤沢型地域包括ケア

けた研修会へ当事者を招き、 協力や、様々な支援者に向

|断的な連携に努める。

産後ケア事業につい

重要だと思うが、その課題

と啓発を行ってきた。 ヤングケアラーの現状把握

として、ヤングケアラーに

対する支援の多部門連携体

制はどのように行われるの

援するとともに、本人に寄

り添い求める支援を検討す

の軽減が必要と考えるが、 踏まえながら、自己負担額 備に加え、利用者の意見も

いては、その家族なども支

ヤングケアラー支援につ **て、サービス提供体制の整**

貿弁 ヤングケアラー支援 る必要がある。これまで以 における連携体制について|上に福祉・医療・教育をは

-色川護岸改修工事

の

欠であると考える。

藤沢市環境基本計画、

共施設についても、PPA

(※2) 事業などにより、

入するとともに、既存の公

災害などにあらかじめ備え

る適応策の推進が必要不可

大能力の発電システムを導 設については可能な限り最 今後も、再整備する公共施 の公共施設に導入しており、

和策と、温暖化による自然 果ガスの排出を抑制する緩

緩和策と適応策の推進

太陽光発電とインフラ整備を進める

4年度は緩和策、適応策に

月に改定されたことを受け、 画が前倒しして令和4年3 沢市地球温暖化対策実行計

さらに導入を推進していく。

適応策については、地域

どのように取り組むのか、

に重点的に投資をしていく。 特性に応じたインフラ整備

(藤沢市公明党)

市の見解を聞きたい。







を代表した議員が「代表質問」を行い市政をチェックしています。

質問)に代えて、新年度の市長の施政方針や予算案等に対し、



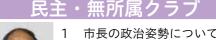








※多数会派順





えをただしました。

シス

の

推

進

市の見解を聞きたい。

産後ケア事業につい

ビスの整備

産後女性を支援する

を開始した。4年度は、

て行われ、6名の質問者が、

市長の政治姿勢などについて、

市の考

4日の3日間にわたっ

今定例会の代表質問は、3月2日、3日、

に研究していく。 有賀

|ほか、6時間のデイサービ らの利用料は、国がモデル ショートステイを開始する 施施設を増やすとともに、 スの準備をしている。これ 安への相談・指導を中心と した3時間のデイサービス 令和3年度から育児不 質問 コロナ禍から市内経 (市民クラブ藤沢) 様々な業種での振興を

とする負担割合である3割 取組が今後の経済の底上げ 策などが重要になり、その 済全体を回復させるために などにつながると思うが、 は、様々な業種への経済対

据えた未来においては、事 市の見解を聞きたい。 答弁 コロナ禍の収束を見

| 者や施設などの意見も参考 ス内容を充実しつつ、利用 としている。今後はサービ 業者のDX化やキャッシュ

上げにつなげたい。

一のため、観光振興の観点か 市内経済の立て直し コロナ後の経済回復 化など、新しい生活様式を

その後、テレワーク補助な 上させ、市内経済全体の底 とで、生産性や収益性を向 組に側面的な支援を行うこ ど、デジタルを活用した取 結果などから課題を把握し、 と想定される。 したデジタル商品券事業の まずは令和3年度に実施

域経済の活性化を図る。

| be等を活用して国内観光 街頭ビジョンやYouTu 中長期的施策としては、 踏まえた社会にシフトする

利用料を無料とすることに を進めており、日中の施設 シャワー効果による周辺地 より、江の島頂上部からの ッキング苑のリニューアル して、江の島サムエル・コ 答用 即効性のある施策と

に侵攻した。核使用に言及 質問 ロシアがウクライナ (日本共産党藤沢市議会議員団) 核兵器廃絶の実現を

働き方の変 要と思うが、 期的・中長期的な施策が必 ら即効性、 持続性のある短 市の見解を聞

レス化が進み、

誘客を進めるとともに、

台

は許すことはできない。

隊を明記することや、緊急

日本国憲法第9条に自衛

が、市長の見解を聞きたい。

ら批准を促すべきと考える

協議会副会長であることか

本市は日本非核宣言自治体

しないという立場である。

いて、政府は署名、

事態条項を新設する動きが

市長の

く

核軍縮の進展と核兵器

国と非保有国の橋渡しとし

| 政府は、核兵器保有

り、さらに取組を進めたい。 の基盤整備として、 (※1)の研究を始めてお また、持続可能な観光地

恒久平和に向けて D М О あることについて、

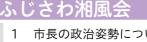
見解を聞きたい。

持できる緊急事態条項の新 的に強化し、国会機能を維 されてきた経過がある。 法解釈の変更が閣議決定さ 的自衛権の行使を認める憲 関しては、平成26年に集団 れており、慎重な議論がな また、内閣の権限を一時 弁 憲法第9条の規定に

るマーケティング調査等を 湾観光客層の現地法人によ 実施予定である。

したプーチン大統領の言動

市長の政治姿勢について





市長の政治姿勢について

政哉

山口



淳基 吉田

本市の行財政について

2 安全で安心な暮らしを築く 3 で豊かな長寿社会をつくる

と元気あふれる子どもたちを育 5 都市の機能と活力を高める

6 未来を見据えてみんなではじめる

武藤 正人

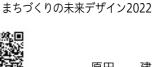




市長の政治姿勢について



潤次



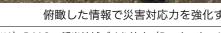


原田 建

と認識している。

踏まえた議論もされている ウイルス感染症への対応を 設については、新型コロナ

民に対する説明がなされ 質問 国民的議論が高まっていく 議が行われ、その上で、 ことが重要と考えている。 憲法の改正に至る場合に まず国において憲法 核兵器禁止条約につ 玉



予兆の検知方法の研究など 急斜面等における災害発生 けた基本設計に着手する。 水浸水対策の施設整備に向 鵠沼東部地区において、内 に着手していく。 そのほか、道路や公園の 答弁 これまで災害現場で のように活用し、拡充して 導入目的、メリット等、ど 年度以降導入とのことだが、 いくのか、市の見解を聞き 無

|や受傷を防ぐなど、安全管

理体制強化にも有効である。

ともに、映像伝送システム ローンの整備拡充を図ると

|ワーク化に向け検討する。

についても、

マルチネッ

和に向け取り組んでいく

携し、

核兵器廃絶と恒久平

議会及び平和首長会議と連

災害時の情報収集 ドローン積極導入を の部隊運用については、

中で、活動方針や消防戦術 把握ができ、指揮本部の機 迅速に災害現場全体の状況 を決定してきた。 した映像情報を得ることで、 指揮者等の経験則を加えた 線情報や地上からの情報に、 ドローンを導入し、

治水対策等で温暖化の災害に備える = -

していくためには、

温室効

づけている。

本市では約70

下水道の取組としては、

とも有益と考える。 令和4

らて、

より実効性のあるド

リアルタイムに提供するこ

発電システムの導入を位置

画を策定していく。 川など4河川の長寿命化計

し、市民が安全安心に暮ら

気候危機の影響に対

(ふじさわ湘風会)

今回改定する藤沢市地球温

の流出解析を行い、治水対

手段として有効であり、そ

こから得られる情報は消防

用については、情報収集の

質問 災害時のドローン活

だけでなく災害対策本部に

の護岸改修や用田1号水路

河川については、一色川

営弁 緩和策については、

暖化対策実行計画の取組に、

策を検討する。

期発見し、消防職員の殉職 能強化が期待される。 また、活動危険個所を早

> 性については、大規模震災 提供でき、被害軽減につな を検討していく。 等に対して、さらにドロー がると考えている。 は、情報が錯綜する中でも、 ーカーなどの付加機能につ 消防力の効果的な投入体制 害情報を一元化するなど、 ンを増強し、 初動段階で出動部隊に情報 今後の活用を含めた方向 さらに、大規模震災等で 今後の技術革新に 市内全体の災

俯瞰した情報で災害対応力を強化する

(※1)DMO…観光地域づくり法人(Destination Management / Marketing Organization)。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。 PPA…2面注釈参照

連邦大統領に対して抗議文 宣言自治体協議会はロシア も示唆される中、日本非核

んでいただきたいと考える。 廃絶の実現に向けて取り組

ロシアによる核兵器使用

を発出した。引き続き、

協

事業等の削減・廃止が進め

の X

市の見解を聞きたい。

本格的なエリアマネ

29に位置づけた4つの施

ナジタル 変革の意識を組織全体に浸透させる 人材育成の専門研修 を実施

(市民クラブ藤沢)

国を挙げて推進する

どのような効果を想定して

等を取り入れるとあるが、

施設として期待しているが、

一方で、まだプレイグラウ

り組んでいく。また、DX 外部人材ならではの視点を 戦略推進プロデューサーの デジタル人材育成の専門研 せるため、全職員を対象と さらなる専門人材や大学生 的な取組について聞きたい。 インドを組織全体に浸透さ した階層別研修等とともに 資弁 DXの取組を加速さ 市民の利便性の向上と 業務改革のマ | 政のDX化に取り組めると |デジタルに関する知識と| ド愛好者の受皿となり得る | 自由な感性や視点による政 装することで、若い世代の X等への提案及び学生との 考えている。 より、スピード感のある行 策立案にも取り組んでいく。 協働につなげていく仕組み ね備えたデジタル職を採用 づくりについても早期に実 | 受皿となる施設のニーズが CT企業での実務経験を兼 し、専門的な知識と技術に さらなる広場確保を プレイグラウンド 令和4年4月から、 (民主・無所属クラブ) さらに、大学生からのD 秋葉台公園における

|る。このため、本市では、

制度を活用し、鵠沼海浜公

Park-PF1 (%1)

見据えたマネジメントの視

辺や市全体への波及効果も

点は欠かせない。大阪駅梅

| 業において重要な役割を担

園の改修事業を推進してお

り、令和5年秋頃のオープ

参考に、民間のノウハウを 田エリアマネジメント等を

|の一つとして、今後、検討

うと考えており、参考事例

効果的に活用する公民連携、

| 高まっていると認識してい

| 0大会を契機に盛り上がり

ンスポーツは、東京202

市全体の波及効果を 村岡地区まちづくり

MXをはじめとしたアーバ

||答弁| スケートボードやB

が、市の見解を聞きたい。

園の選定等を検討していく。 図る中で適地となり得る公 でき、裾野を広げられるよ

の利用状況等を踏まえ、関 鵠沼海浜公園、秋葉台公園

なく多くの人が遊ぶことが

の確保は、これらの課題や

のため、プレイグラウンド

など、課題が多くある。こ

他の利用者への危険性 方で、騒音や施設の破

う、さらなるプレイグラウ

ンドの確保が必要と考える

|を見せ、競技者や愛好者の

るまちづくりには、村岡地

質問 村岡新駅を中心とす

(藤沢市公明党)

先に

(日本共産党藤沢市議会議員団) 行財政改革2024 安全・安心に配慮した予算 財源を確保し、市民生活の

質問 右肩上がりの税収が

開発は中止・凍結も含めて 見込めない現状から、大型

な財政基盤の構築にも資す

かなければならないと考え して自然生態系を守ってい

ては、

度は13緑地において約60本

確保に向けて適切に対応し ど、市民等の安全・安心の 助制度の拡充を要望するな

である。この分野にこそ税 は藤沢らしさを損なうもの られ、これらの福祉の後退 金を優先的に使うべきと考 に子育て世帯や生活困窮世 高齢者や障がい者並び 令和4年度予算では、 市の見解を聞きた

帯などに対する市単独の支 援事業などにもしっかりと

雇用や市内産業の支援に充 市民の命や暮らしを守り

性の向上とともに、将来に の魅力の創出や市民の利便 聞きたい。 わたる税収の安定化や、福 施策の財源確保につながる 祉や暮らしを充実させる諸

ものと考えている。

暮らしの分野に最優先に使 の財源は、コロナ対策や市 |抜本的な見直しを行い、そ 民が望む福祉、医療、子育 うべきである。市の見解を 都市基盤整備は、 街 とのバランスを十分考慮し 政運営に取り組んでいく。 ながら、引き続き適正な財 る投資的事業に充てる財源 倒木を未然に防ぐ ナラ枯れによる被害

かさや適度な自然環境など その理由として、自然の豊 キング上位に入っているが、 が必ず挙げられている。 いて、住みやすい街のラン 本市は各種調査にお

きたい。 るナラ枯れの原因とその被 市有山林37緑地のうち10緑 おいて、被害が確認された。 被害木が確認された後、そ の翌年に本市の市有山林に 29年度に初めてナラ枯れの 害状況及び対応について聞 管理 神奈川県内では平成

と聞くが、市有山林におけ れ (※2) 被害はなかった る。以前は県内でのナラ枯 度が高い箇所の伐倒駆除や ると言われている。 燻蒸処理による対策を行っ ため、平成30年度から危険 林病害虫の防除に関する補 に、国や神奈川県に対し森 る被害状況の確認を日常的 ら5年程度でピークを迎え ナラ枯れの被害は、3年か に実施し対策を図るととも 今後もパトロール等によ また、一定地域における

「ふじさわ市議会だより」は、紙面 の都合で発言の一部を掲載していま す。詳しくは、会議録をご覧ください。

なお、会議録は、図書館、市民セン ター、公民館、市政情報コーナー(市 役所本庁舎4階)、または市議会のホー ムページでご覧いただけます。2月定 例会の会議録は5月下旬ころから閲 覧できます。

また、目の不自由な方や読みづらい 方のために、点字と声のふじさわ市議 会だよりを発行していますので、ご希 望の方は、議会事務局議事課までご連 絡ください。

道等への被害を未然に防ぐ

傍聴についてのお知らせ

閉会中に開催する諸会議及び6月定例会は、 右の日程表のとおり開催する予定です。 なお、皆様の健康を守る観点から、新型コロ

議会の傍聴を縮小しております。 本会議・常任委員会・特別委員会・陳情を審 査する議会運営委員会はインターネット中継を 行いますので、そちらをご視聴いただきますよ うお願いいたします。 日時等についても変更に なることがありますので、詳しい内容は下記へ

ナウイルス感染拡大の影響が収束するまでの間、

お問い合わせください。 また、平常どおり傍聴可能となった際は、ホー ムページ掲載等によりお知らせをいたしますの で、それまでの間、皆様のご理解とご協力をよ ろしくお願いいたします。

[問合せ]議会事務局議事課 ☎ 0466-50-3566 (直通) FAX 0466-24-0123 Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

り組んでいく必要があると めていくために、まちづく ジメントの着手については、 内の受益者からエリアマネ 業パートナーと連携し、取 の効果的なマネジメントに りの計画段階から街全体で 村岡地区が目指すまちづく エリアマネジメント団体に ジメント活動費を徴収し、 りを継続し、街の価値を高 施している、市が活動区域 取り組むことが重要であり、 交付する仕組みは、国内で この考え方を共有できる事 大阪のうめきた地区で実

メント体制の構築は、本事 り組む持続的な街のマネジ も先進的な取組であると認 指す、整備から運用まで取 識している。村岡地区で目 村岡新駅周辺のまちづくり 地開発公社用地の活用及び を見据えた中で、 に取り組んでいく。 東京2020大会

未来につなぐための取組が

ンポジウムを開催するなど、 未来を見据えたスポーツシ 沢市スポーツ連盟と連携し、

一辺、市全体への波及効果等 **|くのレガシーがもたらされ** より、本市にとって大変多 質問 東京2020大会に

クをはじめとした公園施設 ンを目指し、スケートパー

の全面改修を行っていく。

トに着手すべきと考えるが、

本格的なエリアマネジメン

区だけではなく、藤沢駅周 していく。村岡新駅周辺地

たと感じている。今後は、 レガシーを後世 なぐためのソフト事業につ 世につないでいくべきと考 えるが、本市として具体的 答弁 レガシーを未来につ いるのか聞きたい。 にどのような取組を考えて に進め、そのレガシーを後 でなくソフト事業も積極的

いては、令和4年度から藤一く事業を展開していく。 | 必要である。ハード面だけ 新たな事業に取り組む。 ながるよう、各施策に基づ わい豊かなまちづくりにつ 市宣言の理念の下、 業においても、スポーツ都 スタをはじめとする各種事 しみ、生き生きとしたにぎ また、パラスポーツフェ

| 藤沢市土 | このレガシーをしっかりと

を未来につなげる=パラスポ 施していく。3点目は、 ポーツを推進する事業を実 座など、インクルーシブス 動を支えるスポーツボラン 多様な障がい者スポーツ活 開催していく。2点目は、 かけづくりなどを目的とし かす習慣や体力向上のきっ 健康づくりのための体を動 策の柱に基づき、様々な取 人材育成を図る総合的な講 た体験型の各種イベントを 駅前等の広場を活用し

閉会中に開催する諸会議									
開	催	日	開会時刻	会 議 名					
5月	23日	(月)	10:00	5月臨時会本会議					
5月:	27日	(金)	13:00	災害対策等特別委員会 (水防訓練現地視察)					
6月	1日	(水)	15:30	議会運営委員会					

請願と陳情のご案内

6月定例会では、請願・陳情ともに6月1日(水) 正午までに提出されたものを審査します。 また、請願者と陳情者は、希望により委員会

きます。 ※提出方法については議会事務局議事課にお問い 合わせください。

において趣旨説明(意見陳述)を行うことがで

6月定例会								
開催日	開会時刻	会 議 名						
6月6日(月)	10:00	本会議(議案の説明など)						
8日(水)	10:00	本会議(議案の審議など)						
9日(木)	9:30	建設経済常任委員会						
10日(金)	9:30	厚生環境常任委員会						
13日(月)	9:30	子ども文教常任委員会						
14日(火)	9:30	総務常任委員会						
15日(水)	9:30	補正予算常任委員会						
16日(木)	9:30	議会運営委員会						
20日(月)	10:00	本会議(議決、一般質問など)						
21日(火)	10:00	本会議(一般質問)						
22日(水)	10:00	本会議(一般質問)						
23日(木)	10:00	本会議(一般質問)						
24日(金)	10:00	本会議(一般質問、追加議 案議決など)						
	本会議終了後	広報広聴委員会						
	7/-//							

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開 催されます。

る合同点検実施のほか、ガ 係各課や警察、学校等によ 応状況としては、庁内の関 7 箇所の報告があった。対

喚起表示設置等のハード面、

ンベルトの路面標示、注意

・ドレールの補修やグリー

及び交通取締りや児童生徒

への交通安全教育実施等、

定にあたっては、

進めていく。設置場所の選 他の地域にも有効か検証を 行い、その結果を踏まえ、 学校関係者への聞き取りを

とを目標としており、達成

に向けては、担い手の育成

もに、市街地にある特定生

緑地制度の周知を行うとと

本で継続して協議を行って

年度比で2・8倍とするこ 有機農業の取組面積を、2

組合や農業委員会などの関

新駅整備の事業費縮減に向 会で答弁している。なお、

けては、3県市とJR東日

今後は、さがみ農業協同

係機関と連携し、特定生産

本市は令和8年度の

ಠ್ಠ

























通学路等の交通安全対策

『察や学校と連携し合同点検を実施 安全な通学環境の整備に努める

学路における合同点検の実 科学省から発出された、通 応状況と今後の取組につい 施について(依頼)への対 (藤沢市公明党) 令和3年7月に文部 緊密な連携により、安全な 意喚起並びに関係機関との ソフト面の安全対策を行っ | 地域特性に応じて対象箇所 への対策状況の公表及び注 ている。今後は、

頼した結果、今年度は16 通学路の危険箇所調査を依 ★ 市立小学校に対して 者横断点滅器の設置予定箇 道の安全対策として、歩行 所数、及び効果の検証と今 通学環境の整備に努める。 信号機のない横断歩

の車両の一時停止率調査や 予定しており、設置前後で 後の展開について伺いたい。 | | 市内で1箇所設置を 市政に対する信頼を失墜さ せる。再発防止へ向け制度 く状況は、市民を落胆させ、 の構築も大切だが、まずは

理事者の決意も内部統制の推進 質問 理事 (市民クラブ藤沢) 進

校関係者等の意見を聞きな を抽出し、地域や警察、 がら検討を進めていく。 職員の不祥事等が続 の取組が一部には浸透して 由々しき事態と捉えている。 ために行ってきた内部統制 とする事案は、信頼回復の なる事案、事務ミスを起因 いないことを示しており、

る。令和3年12月定例会で より重要であると捉えてい 職員間のコミュニケーショ ンに加え、組織間の連携が の変化等が生じる中では、

事も自分事として考えられ 人間力、職員力を高め、何

事者の決意を聞きたい。 答弁 組織内部のコミュニ 能となる市政に向けた、理 不祥事のない事務執行が可 を示すべきである。今後、 には、理事者が変革の姿勢 全職員の意識改革を促す

家庭裁判所出張所

て取り組んでいく。

コロナ禍による働く環境

| **る力を培う必要があると考** | として捉え、ケーススタデ

ケーション不足等が要因と される市政の実現へ向けて、 とのできる力を培うことで、 案を自分事として捉えるこ 意見交換を実施している。 適正な事務執行による信頼 高めるとともに、リスク事 職員一人一人の人間力を

連携して設置要望を

(民主・無所属クラブ)

した。

の議案説明資料記載内容誤 りの事案を組織全体の問題 ィとして、すべての職場で

> などの家事事件が多くある。 で取り扱わない相続や離婚 ているが、藤沢簡易裁判所

質問本市の人口増加は、

(ふじさわ湘風会)

最適な未来を共に創る

本市のグランドデザイン

運営を推進していく。

さらに、未来に向けて、

とも連携できる体制を整え

職員の先頭に立つ一人とし

書を国と最高裁判所に提出 年3月及び昨年10月に、藤 所出張所併設を求める意見 沢簡易裁判所への家庭裁判 質問 本市議会は、平成27

家庭裁判所出張所設置は、

社会インフラ整備として捉 過去の事例としては、設 推進している。本市として、

えることができる。

て国に要望するという形で 置市の首長が必要性を表明 し、管轄自治体間で連携し

係する近隣自治体や県市長 確保に寄与できるよう、関

窓口を設置し、 のか聞きたい。 て、どのように考えている 管轄自治体間の連携につい | | 本市では様々な相談 庁外の機関 | 会、市議会と協力しながら、

スピード感を持ち、積極的

適化など、中長期的な視点 ジタル化、施策・事業の最

に立ち、社会の変化を的確

る最適な未来を共に創って

に捉えた、信頼される市政

くのか市の見解を聞きたい。 いて、どのように描いてい けたグランドデザインにつ としつつ、本市の未来に向 を目指していくことを前提 人口増、都市の成長・拡大 化は近い将来直面するが、 高齢化による人口構造の変

算 SDGsの視点やデ

自然と美しく調和した中で、 を愛する思いが、人、社会、

人一人の心にある、

郷土

時代を超え、誰もが自分ら

しく生き、幸せを実感でき

と相まって、今後、家事事 件は増加傾向になると想定 している。 流入人口の増加や高齢化 こうした社会情勢を捉え、

ワークの促進などが要因と 境面、コロナ禍によるテレ 性に加え、地理的要因や環 子育て支援など政策の優位

ちを取り巻く環境の整備等

|整備を着実に進めていく。

また、子育てや子どもた

なげるとともに、都市基盤 と相乗効果を市域全体につ めに、都市拠点の機能分担 まちの活力があり続けるた

考えられる。

今後、人口減少、少子超

地域課題に関わる活動が自

を着実に行うなど、様々な

立的な取組となるよう、共 感と信頼に基づく豊かなコ

なる安全・安心な暮らしの 求める必要がある。 要因で司法を均一に受ける がなく、距離的、 家庭裁判所出張所の併設を 権利に格差が生じないよう、 不安を抱えて生活すること 市民が長期にわたり負担や 今後は、地域住民のさら

|ミュニティづくりを進めて

く。

令和4年度を新たなスタ

トとして踏み出し、市民

時間的な

定例会の建設経済常任委員 | とを目的に策定している。 を要望していく。 に家庭裁判所出張所の設置 行政における、協議会での

認しながら、事業進捗を図 負担の平準化等に取り組み、 財源の確保や年度間の財政 ル等を踏まえた上で、特定 わたり堅持されることを確 本市財政の健全性が将来に 新駅設置の整備スケジュー っていくものと捉えている。 1町の農畜水産物の魅力発 同参画に向けた取組、2市 新たなスポーツ支援の取組 GSの推進、人権・男女共 答弁 同協議会では、 について聞きたい。 を捉えた取組として、SD 地球温暖化防止対策及 · 時勢

性とスケールメリットを生 実現へ向け検討を重ねてい 議会では、湘南地域の独自 を深め、共通課題を抽出し、 かしていくためにも、連携 スポーツ都市宣言は、2 湘南広域都市行政協 |湘南ユナイテッドBCとの るバスケットボールチーム、 している。 連携についても検討を予定 じ地域を拠点に活動してい として、協議会の圏域と同 検討を進めている。 来年度からの新たな取組

信号機のない横断歩道の安全対策とし

ステム戦略で、有機農業の

から30年が経過し、特定生

150億円に対し、議会が

村岡新駅設置費用の

いつ、どの場で認めたのか

考えを聞きたい。

見込みについて、財務部の ける今後の建設関係の突出

産緑地への移行が始まる中、

物の供給を検討していく。 デル校での藤沢産有機農産 図り、学校給食におけるモ

(アクティブ藤沢)

中期財政見通しにお

質問

(市民クラブ藤沢)

政負担の軽減を 岡新駅設置費用

> 年2月2日に決裁されてい 定した起案文書は、令和3

> > スポーツ支援の取組を 2市1町の広域連携

生産緑地制度の制定

物の販売、講座等の充実を

ベント等における有機農産

興を図っていく。

新規就農者の積極的な受け と考えている。このため、 や消費者の理解促進が重要

全することにより、市内全 産緑地を含む都市農地を保

域で営まれる都市農業の振

討していく。

また、市が新駅設置を決

様々な視点から引き続き検 軽減に繋がる手法について、 いるが、本市の財政負担の

れや研修支援の実施、

(民主・無所属クラブ) 国がみどりの食料シ

取組面積を25%にすると示

都市農業を守る立場として、

したが、本市では現在の11

の見解を聞きたい。

修・研究まで一貫した取組 から流通・消費・教育・研 倍に増やす必要があり、種

を行うべきと考えるが、

市

面積の約8割が、特定生産

決裁されたのか聞きたい。

平成30年12月市議会

全な財政運営を維持するこ

ると考えられる。スポーツ

より効果的な成果を得られ

を決定した起案文書はいつ

展につながる様々な事業を

計画的に進めることで、健

あわせて、市が新駅設置

緑地に指定済みとなってい

応をしているのか聞きたい。

もって農地や緑地を守る対 何らかのインセンティブを

市の見解を聞きたい。

を再考すべきと考えるが、

中期的な視点で歳入歳出や

中期財政見通しは、

健全化判断比率のシミュレ

く必要があると考える。

ーションを行い、本市の発

聞きたい。また、費用負担

向の高まりを踏まえ、スポ フレイル予防などの健康志

び気候変動適応策の取組な かせる事業の実施に向けて よるメリットを最大限に生 ど、広域で取り組むことに SHONANUNHEDB

地域を拠点に活動するスポーツチームとの連携など検討を進める

ツチームとの連携など、 あらゆる角度から実現の可 資する広域連携事業として、

えながら、地域の活性化に て検討を進めていく。 地の利を生かした取組とし 今後は、 時代の潮流を捉 |えていく。 |関係部署間での協議を進 能性について、2市1町の

議案2件、陳情1件を審査

した。その結果、議案は全

て可決すべきもの、陳情は

オンライン視察を行った。 化センターの取組について、 現在の活用状況及び教育文

2月22日の委員会では、



東京2020大会を終えて

今大会で築いたレガシーを























理等に万全を期して臨み、 けて取組を進めてきた。

はじめとした医療や危機管

始動させたこと、「いつで UJ-SAWA2020を

また、新型コロナ対策を

を果たすことができた。

上げの両立を図るなど、地

安全安心の大会実現と盛り

いつまでも」スポーツライ も・どこでも・だれでも・

元自治体として大きな役割

念の下、スポーツ都市宣言

フを楽しめるようにとの理

と決定した。

を制定したことは、今大会

を象徴するレガシーと捉え

としては、江の島会場の競

ている。

本市における取組の成果

その先の未来へと引き継ぐ

子ども文教常任委員会は、| リンピック・パラリンピッ | 影響は大きく、シティキャ | ク競技大会を終えて④本市 | ストの活動やライブサイト 件について報告を受けた。 配置に関する基本方針(最 | 沢市立学校適正規模・適正 実施状況と今後の取組⑤藤 ビジョンの改定――以上6 終案)⑥学校教育ふじさわ における学校運営協議会の 催された今大会であったが、 見直しを余儀なくされた。 止や縮小するなど、大幅な 等の大会関連イベントも中 を柱とし、地域と市民が元 | ない機会となったと考えて | いけるよう取り組んでいく。 会の実現とレガシーの創出 本市では、市民参加型の大 このような状況の中で開

| 賛されたことと捉えており、

のおもてなしや、江の島の とに加え、市民による数々 非常に高い評価を受けたこ 技運営が国際競技団体から

景観等も選手関係者から称

をはじめとする数々の成果・

けた。

020、スポーツ都市宣言

民力・地域力、さらには、

今大会を通じて培った市

チームFUJISAWA2

これらの取組や景観は、広

|い未来へ向けた新たな活力

(案)について

〈市の説明〉

|レガシーを、藤沢の輝かし

江の島を発信する、またと く国内外に配信され、藤沢・

未来へと着実に引き継いで

成23年に整備・経営の指針

本市の下水道事業は、平

として、次世代、その先の

GIGAスクールの概要と

1月25日の委員会では、

1月25日及び2月22日に開

○東京2020オリンピッ 会を終えて ク・パラリンピック競技大

(市の説明)

を終えることができた。1 |に開催され、無事に全日程 東京2020大会は昨夏

年延期で開催された大会時

においても、新型コロナの

推進計画2029の策定(最 終報告)②藤沢市スポーツ わプラン2026の策定(最 また、①生涯学習ふじさ

終報告)③東京2020オ

趣旨不了承と決定した。

市民による数々のおもてなしが大会を盛り上げた と決定した。 地域計画の策定(最終報告) の策定③藤沢市国土強靱化 DX推進計画」及び「藤沢 推進指針の改定②「藤沢市 市スマートシティ基本方針」 また、①藤沢市人権施策 以上3件について報告 施していくため、DX推進 具体的な取組を計画的に実

を受けた。 及び「藤沢市スマートシテ ィ基本方針」の策定につい ○「藤沢市D×推進計画」

(市の説明)

はじめ、

関連計画等と整合

に、未来へとつながるよう、

|地球温暖化対策実行計画|

境基本計画」及び「藤沢市

の改定(最終報告)④藤沢

本市DXの方向性と 行政と都市のデジタル化を進める スマートシティへの取組 務

24日に開催され、議案3件、 きもの、陳情は趣旨不了承 結果、議案は全て可決すべ 陳情1件を審査した。その 総務常任委員会は、2月 の標準化などの進め方に関 いる。本市においても、 DX全体手順書を策定して 推進計画や、情報システム 的に取り組むべき事項・内 容を具体化した自治体DX 市の状況や特性を考慮した する手順等を示した自治体 国では、各自治体が重点

また、市民目線を大切に

計画(案)を作成した。 本方針と連携するとともに、 ービス向上の観点から、藤 | 方針(案)を作成した。 沢市行財政改革2024基 本計画の推進に当たって 業務の効率化と市民サ ジョンは、湘南の元気都市 にふさわしく、明るく元気

デジタル化に取り組んでい 行政のデジタル化と都市の 務の効率化を図りながら、 前提とした考えに立ち、住 性としては、デジタル化を 性を図りながら進めていく。 民の利便性向上と自治体事 本市におけるDXの方向

くため、本市が目指すスマ 市民生活の質の向上を実感 |サービスの提供を通じて、 方などを取りまとめた基本 方やビジョン、今後の進め 現に向けた取組を進めてい できるスマートシティの実 し、一人一人に寄り添った 本市のスマートシティビ トシティの基本的な考え | 策計画の中間報告②地域共 的支援の推進③「藤沢市環 と決定した。 きもの、陳情は趣旨不了承 生社会の実現に向けた包括 その結果、議案は可決すべ 1件、陳情1件を審査した。 2月21日に開催され、 また、①ふじさわ自殺対 厚生環境常任委員会は、

とした。 |と誇りあふれる藤沢の魅力|の後は市長をリーダーとす 化しつづけることで、愛着 を未来に受け継いでいく」| る藤沢市DX推進本部会議 「新たな活力を創出し、進 今後の予定としては、令 | 管理を実施していく。 及び基本方針を策定し、そ 和4年4月にこれらの計画 において取組の推進や進捗

藤沢型地域包括ケアシステムの推進 多機関協働事業等を進め 地域共生社会の実現を目指す 厚生環境

> 性を問わない相談支援、 る具体的な手法として、 包括的な支援体制を構築す 社会福祉法では、市町村が

> > を広げ、地域全体で支え合 関係機関とのネットワーク 啓発を進めるほか、各支援

う体制の強化を進めていく。

|⑥令和5年度以降のごみ収 実施計画の改定(最終報告) |の改定(最終報告)⑤湘南 市一般廃棄物処理基本計画 て報告を受けた。 東ブロックごみ処理広域化 けた包括的支援の推進につ 集体制— ○地域共生社会の実現に向 ―以上6件につい の取組や考え方を後押しす 野を超えた包括的な支援体 おり、実施を求めている。 制の整備に取り組んでいる 整備事業を新たに規定して 体的に行う重層的支援体制 けた支援の3つの支援を一 加支援及び地域づくりに向 ことから、国の動向は本市 本市においては、既に分

の複雑化・複合化などに対 本市では、地域生活課題 (市の説明) 重層的支援会議を設置する 考え方を共有するとともに、 るものと捉えており、今後

議案は全て可決すべきもの 8件を審査した。その結果、 2月25日に開催され、議案

った。

ふじ 持続可能な下水道事業を さわ下水道ビ 木来へつなぐ ジョン(案)

示したマスタープランとし 道事業の中長期的な理念を

本ビジョンは、本市下水

て、計画期間を5年から24

体で構成する支援委員会な 元住民や、市内19の関係団 気になることを目標に、

| たボランティア気運を市民

また、今大会を契機とし

活動へとつなげていくため

の仕組みとして、チームF

2月18日に開催され、 建設経済常任委員会は、 議案

②藤沢市都市農業振興基本 藤沢市地産地消推進計画の 3件を審査した。その結果、 以上4件について報告を受 わ下水道ビジョン(案) 改定(最終報告)④ふじさ 促進計画の改定(最終報告) 議案は全て可決すべきもの 計画の改定(最終報告)③ また、①藤沢市耐震改修 り持続可能な下水道事業の 全性を維持し、将来にわた

○ふじさわ下水道ビジョン 運営に努める必要がある。

| ョンの見直しを行い、新た からのアセットマネジメン このことから、令和5年 (※)運用に向けてビジ

も公営企業として経営の健 | ビジョンを策定し、効率的 となる湘南ふじさわ下水道 する自然災害への対処、人 題が明らかになってきたが、 水道使用料の減収などの課 口減少等から想定される下 で効果的な運営をしてきた。 このような状況下において 水道施設の老朽化や激甚化 現状では、急速に進む下 たちに引継ぎ、快適で安全 へつなぐ下水道」とした。 ひかり輝く海・まちを未来 資本である下水道を子ども 球環境の保全と都市の成長 安心な市民生活を守り、地 えても、重要な社会的共通 年までの20年間とした。 道のあるべき姿を「湘南の を目指すため、本市の下水 これからの厳しい時代を迎 本ビジョンの基本理念は、

|にふじさわ下水道ビジョン|来へつづく下水道サービス

しく豊かな環境づくり④未 にまけないまちづくり③美 道を次の世代へ②自然災害 基本方針は、①元気な下水 めに進むべき方向を示した 基本理念を具現化するた

方策として示した。 て共有すべき考え方を推進 定し、施策の推進に当たっ 略などを15の施策として設 具体的に取り組む計画や戦

以上4つとした。

今後の予定としては、当

これらの基本方針ごとに |9月定例会で中・短期経営 関連する実行計画として、 | て最終報告を行う。また、 で同計画の最終報告を行う。 計画(案)を、12月定例会 会6月定例会の本委員会に トの意見を踏まえて、市

など、多機関協働事業等を | と決定した。

災害対策等特別委員会

|括ケアシステムを推進し、

進めていく。

支え合いの地域づくりと包

応するため、

藤沢型地域包

括的支援に向けた取組を進

重層的支援体制の考え方を

今後の推進体制としては、

全職員が共通認識として持

ために、職員研修等での

めてきた。

令和3年4月施行の改正

災害対策等特別委員会は、

コロナウイルス感染症に関 審査を行った。 する本市の対応等について 2月4日に開催され、新型

施設再整備特別委員会藤沢都心部再生・公共

を見据えた地域生活課題に クト組織では、2040年 地域共生社会推進プロジェ また、3年度に設置した 月9日に開催され、藤沢都 設再整備特別委員会は、2 藤沢都心部再生・公共施

庁内検討委員会に提案して ついて関係部局と連携し、 対応するための体制整備に 算 整備について審査した。 心部再生及び公共施設の再 藤沢市民会館等再整備に係 藤沢市公共施設等総合管理 る基本構想 (中間報告) ② この日の委員会では、 1

いく

補

正

予

補正予算常任委員会は、

計画の改定③藤沢駅周辺地 以上3件について審査を行 区再整備事業の進捗状況― 委員会やパブリックコメン 管路の耐震化を進め、市民の衛生環境や都市機能を守る 議 …下水道事業においては、①ヒト(組織・管理体制)②モノ アセットマネジメント (資産・施設(ストック)管理)③カネ(経営管理(投資・財政計画など))の3つの要素を活用し、 持続可能な事業運営を行っていくこと。

○: 賛成 ×: 反対 △: 賛否が分かれる

- : 陳情を審査する委員会(付託委員会) への委員の選出なし

番		<i>u</i> +	各会派の賛否						
号	件 名	結果 年月日	民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ	
	十		2	2	会	党	党	ァ	
	市長提出								
77	専決処分の承認について(令和3年度藤沢市一般会計補正予算 (第10号)) 付託せず	承認 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
78	専決処分の承認について(令和3年度藤沢市一般会計補正予算 (第11号)) 付託せず	承認 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
79	財産の取得について(遠藤笹窪谷(谷戸)用地) 付託せず	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
80	市道の認定について(片瀬421号線ほか3路線) 建設経済	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
81	市道の廃止について(片瀬91号線ほか2路線) 建設経済	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
82	指定管理者の指定について(藤沢市藤沢駅前広場(北口地下 広場)) 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	×	0	
83	指定管理者の指定について(藤沢市太陽の家(心身障がい者 福祉センター)) 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
84	藤沢市個人情報の保護に関する条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	0	0	0	0	×	0	
85	藤沢市事務分掌条例の一部改正について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
86	藤沢市条例の読点の表記を改める条例の制定について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
87	藤沢市職員定数条例の一部改正について 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
88	藤沢市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について 総務	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
89	藤沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 総務	可決 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
90	藤沢市非常勤職員の報酬等に関する条例及び藤沢市一般職員 の給与に関する条例の一部改正について 総務	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
91	藤沢市職員退隠料等条例の廃止について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
92	藤沢市手数料条例の一部改正について 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
93	藤沢市道路占用料徴収条例の一部改正について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
94	藤沢市特別会計条例の一部改正について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
95	藤沢市水洗便所改造等資金貸付条例の一部改正について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
96	藤沢市地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について 建設経済	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
97	藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 子ども文教	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	
98	藤沢市保育所条例の一部改正について 子ども文教	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
99	藤沢市小児医療費助成条例の一部改正について 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	0	0	
100	藤沢市国民健康保険条例の一部改正について 厚生環境	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
101	藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正につい て 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	0	0	
102	藤沢市江の島岩屋条例の一部改正について 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	0	0	
103	藤沢市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 付託せず	可決 - 4.2.17	0	0	0	0	0	0	
104	令和3年度藤沢市一般会計補正予算(第12号) 補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	
105	令和3年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号) 「補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	

番		結果	各会派の賛否						
号	件 名 付託委員会	年月日	民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ	
106	令和3年度藤沢市墓園事業費特別会計補正予算(第3号) 補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
107	令和3年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	
108	令和3年度藤沢市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号) 「補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	
109	令和3年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算(第 1号)	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	
110	令和3年度藤沢市下水道事業費特別会計補正予算(第2号) 補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	×	0	
111	令和3年度藤沢市民病院事業会計補正予算(第3号) 補正予算	可決 - 4.3.2	O *1	0	0	0	0	0	
112	令和4年度藤沢市一般会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	×	
113	令和4年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別 会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
114	令和4年度藤沢市墓園事業費特別会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	0	0	
115	令和4年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
116	令和4年度藤沢市介護保険事業費特別会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
117	令和4年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
118	令和4年度藤沢市下水道事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	0	0	0	0	×	0	
119	令和4年度藤沢市民病院事業会計予算 予算等	可決 - 4.3.22	0	0	0	0	0	0	
i	議員提出								
5	ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議 について 付託せず	可決 - 4.3.4	O *1	0	0	0	0	0	
	陳 情								
14	令和3年度子育て世帯臨時特別給付における不公平是正を求める陳情 総務	趣旨不了承 - 4.2.24	×	×	×	×	0	0	
15	児童手当の所得制限撤廃を求める意見書の提出についての陳 情 子ども文教	趣旨不了承 - 4.2.22	0	×	×	×	0	-	
16	湘南海岸砂防林への農薬散布の中止を求める意見書提出についての陳情 「厚生環境	趣旨不了承 - 4.2.21	×	×	×	×	0	-	

※ 佐賀和樹議長は、3月2~4日まで欠席

※1 欠席した議員:竹村雅夫(3月2~4日の本会議を欠席)

会 派 名	省略表示		所 属	議員	
民主・無所属クラブ(10)	民無ク	安藤好幸 友田宗也 竹村雅夫	神尾江里 大矢 徹 有賀正義	谷津英美 永井 譲	清水竜太郎 柳田秀憲
市民クラブ藤沢(9)	市民ク	石井世悟 栗原貴司 井上裕介	西 智 松長由美絵	桜井直人 北橋節男	佐賀和樹 山口政哉
ふじさわ湘風会(7)	湘風会	杉原栄子 吉田淳基	甘粕和彦 神村健太郎	佐野 洋加藤 一	堺 英明
藤沢市公明党(5)	公明党	平川和美 松下賢一郎	東木久代	武藤正人	塚本昌紀
日本共産党藤沢市議会議員団(4)	共産党	土屋俊則	味村耕太郎	山内幹郎	柳沢潤次
アクティブ藤沢(1)	アクテ	原田 建			-

※上記は令和4年2月定例会時における会派構成です。

() 内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順

本 所属議員の変更(○は会派代表者) 「民主・無所属クラブ! 4月1日付で会派構成の変更がありました。

変更

「**民主・無所属クラブ**」 安藤好幸 神尾江里 谷津英美 清水竜太郎 大矢 徹 永井 譲 ○柳田秀憲 竹村雅夫 有賀正義

新会派結成(○は会派代表者) 「Visionふじさわ」 〇友田宗也